

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名		春ウォーキング大会開催事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり					所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	上原哲也	
	施策	20	生涯学習の推進					所属課	生涯学習課	担当者名	中島仁	
	基本事業	68	学習やスポーツへの参加機会の提供					所属班	スポーツ振興班	(内線)	1519	
予算科目		会計一般	款10	項6	目1	事業連番10800	法令根拠	スポーツ振興法			成果優先度評価結果	④
											コスト削減優先度評価結果	⑨
終了、開始年度		☐ 22年度で終了 ☐ 22年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)				

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】	約8kmのコースを自然や文化財に触れながら、3時間ほどかけて散策する。近年健康ブームにより、ウォーキングについての関心が高まってきた。合志市でも歩くことの大切さ、交流することの楽しさを広めたいという理由で春ウォーキングを開催した。旧合志町・旧西合志町住民の交流を行えるように旧町間を交互にコース設定している。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	コースの設定～資料作成～体育指導員実施会議～参加者募集～救護員・参加賞・1日保険等準備～試歩～大会～後片付け
【主な予算費目】	救護員の報償費・1日保険料・大会賞品
【意見や要望】	ウォーキングに参加して、参加者同士の交流があった、スポーツを始めるきっかけになった、来年も参加したいという結果が寄せられた。また、楽しかった等感謝の気持ちが寄せられた。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	

1 現状把握の部（DO、PLAN）

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)		23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
参加者 101名にて、ヴィーブル～飯高山～野付の約8kmのコースを散策。		弁天山を中心とするコースを散策する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ ア 開催回数	回	前年度が骨格予算であり、事業費のうち消耗品費、使用料及び賃借料の増によるもの。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民		⇒ ア 人口
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
歩くことによりスポーツを始めるきっかけとなり、参加者同士の交流がある。		⇒ ア 参加者数
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		
より多くの市民がスポーツを始めるきっかけとなってもらうため。		

(2)各指標・総事業費 の推移				単位	20年度 実績(決算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	24年度 予定	25年度 見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度	
① 活動指標		ア	回		1	1	1	1	1	1	1		(期間限定複数年度のみ記載)
② 対象指標		ア	人		54,407	54,856	55,486	55,828	55,751	56,222	56,693		
③ 成果指標		ア	人		155	172	200	101	200	200	200		
投資 入費 量	事業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円									
			都道府県支出金	千円									
			地方債	千円									
			その他	千円	32	38	33	30	45	45	45		
			繰入金	千円									
			一般財源	千円			34		37	37	37		
	人 件 費	正 規 職 員 従 事 人 数	(A) 事業費計	千円	32	38	67	30	82	82	82		
			(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0		
			(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0		
			延べ業務時間	時間	93	90	93	81	93	93	93		
			(B)人件費計	千円	372	358	370	333	383	383	383		
			トータルコスト(A)+(B)	千円	404	396	437	363	465	465	465		
0													

事務事業名	春ウォーキング大会開催事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	---------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は22年度的事後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した 参加者（市民）への周知不足。認知度が少ない。	☒ 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 年々、参加者は増加傾向にある。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 コース設定等に趣向を凝らせば参加意欲も上がり、参加者数の向上も期待できる。	☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業なし。	☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 大会運営謝礼の削減・大会賞品のごみ袋等配布による参加賞の削減。	☐ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 最小現の人数で対応している。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 最小現の人数で対応している。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 市歩こう会や体育協会へ移行する方法総合型地域スポーツクラブがイベントとして実施する方法	☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

周知方法の改善。現在は市広報と各施設へのポスター掲示のみである。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☒ 事業のやり方改善（有効性改善） ☒ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																							
				<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
		コスト																									
		削減	維持	増加																							
成果	向上	○																									
	維持																										
	低下																										
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																											